

事務事業名		塩谷町安全安心な農作物づくり事業				<input checked="" type="checkbox"/> 事後(中間)評価対象事業						
総合計画	政策名	0:3:産業活性化に向けたまちづくり				所属課	産業振興課	担当	農業振興担当			
	施策名	0:3:農業生産基盤の充実				課長名	高橋 好雄	担当者名	田代 好弘			
予算科目		会計	款	項	目	事業	事業コード名	関係法令・条例等				
		1	0	5	0	1	0	3	0	2	農業者支援費	
事業期間		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ		<input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度		年度)		<input type="checkbox"/> 期間限定 (年度~		
事務事業の概要 (事務事業の内容を記載)		<p>1 事務事業概要 平成23年度塩谷町産米においては県のモニタリング調査の結果、玄米から放射性物質は検出されなかったが、日光市では放射性セシウムが検出され、平成24年度米の栽培に先駆けカリウム肥料の無料配布を実施した。これまで国等の試験において、カリウム施用により放射性セシウムの吸収を抑制する効果が高いことが明らかになっているので、平成24年度塩谷町産米と大豆からも放射性物質を検出させないために、放射性物質の吸収抑制対策の一環としてカリウム肥料を施用する農家の購入費用に対する補助を行う。ただし水稲及び大豆に係るJA塩野谷販売分は国庫補助事業の対象となるため、補助対象外となるJA塩野谷以外からの購入者及びJA塩野谷から購入した畜産農家等が町単独事業の対象となる。基準施肥量は米が10aあたり20kg、大豆が10aあたり40kg、補助金額は20kgあたり1,667円。6月末から周知を図り、7月中にJA塩野谷以外からの購入者等を把握し9月補正予算に計上する。作付面積に対し基準施肥量を超えた購入分は補助対象外となる。</p> <p>2 概算事業費 現時点で把握している数(4月以前購入分及び畜産農家) 529袋×1,667円＝ 881,843円 JA塩野谷以外からの購入者(今後調査) 計上した事業費は前回作成したマネジメントシートの金額とした。</p>										

(1) 事務事業の目的と指標				
① 活動の計画(活動の量・大きさ・規模等)	放射性セシウムの吸収抑制のためにカリウム肥料を施用した水稲(1764ha)、大豆(127ha)及び畜産農家の牧草(不明)の作付面積	➡	④ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
② 対象(事業は誰・何を対象にしているのかを記載)	放射性セシウムの吸収抑制のためにカリウム肥料を施用した水稲(1400戸)、大豆(26戸)及び畜産農家数(24戸)	➡	⑤ 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
③ 目標(この事業によって、対象をどうしたいのかを記載)	平成24年度産米、大豆及び畜産農家の作物から基準値以上の放射性セシウムが検出される件数	➡	⑥ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
			名称	単位
			ア カリウム肥料を施用した水田等の面積	ha
			イ	
			ア カリウム肥料を施用した水稲・大豆農家数	戸
			イ	
			ア 放射性セシウム検出件数	件
			イ	

(2) 指標・総事業費の推移		単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成32年度 総合計画 最終年度
活動指標	ア	目標値	ha	1,891				
	イ	実績値	ha	189				
対象指標	ア	目標値	戸	1,450				
	イ	実績値	戸	113				
成果指標	ア	目標値	件	0				
	イ	実績値	件	0				

計画		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成32年度
事業費 投入量	国庫支出金	千円					
	県支出金	千円					
	地方債	千円					
	その他	千円					
	一般財源	千円	5,600				
	事業費計(A)	千円	5,600	0	0	0	0
人件費	正規職員従事人数	人	1				
	延べ業務時間	時間	40				
	人件費計(B)	千円	160	0	0	0	0
トータルコスト(A)+(B)		千円	5,760	0	0	0	0

実績		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成32年度
事業費 投入量	国庫支出金	千円					
	県支出金	千円					
	地方債	千円					
	その他	千円					
	一般財源	千円	1,545				
	事業費計(A)	千円	1,545	0	0	0	0
人件費	正規職員従事人数	人	1				
	延べ業務時間	時間	40				
	人件費計(B)	千円	160	0	0	0	0
トータルコスト(A)+(B)		千円	1,705	0	0	0	0

評価項目	説明	事前評価結果	実施後の状況	事後評価結果
目的妥当性評価 ① 公共関与の妥当性 なぜこの事業を町が行わなければならないのですか？税金を投入して、達成するものですか？	福島第1原子力発電所の事故に起因する放射能被害であり、町の農産物の安全安心のために町の関与は妥当。JA塩野谷管内では町同様汚染状況重点調査地域である矢板市が5月臨時議会で予算化。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり
有効性評価 ② 着手・実施の必要性 この事務事業をなぜ着手・実施しなければならないのか？先延ばしにできない理由は何か？	本来はJA塩野谷と同時進行で実施すべきであり、農家の中には日光市は無料配布なのに町はなぜ助成しないのか、また助成がないから施用しないという農家もあると聞いている。これ以上先延ばしにできない。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり
効率性評価 ③ 総事業費の算定根拠 算定にあたってコスト削減策を考えたか？将来のコスト増要因に対して対策が考えられているか？	国庫補助対象外となる農家への補助であり、矢板市においても同様の補助を予定しており、JA塩野谷管内での公平性を保つ意味からも単価は妥当と考える。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり
公平性評価 ④ 受益と負担との関係 事業の内容は受益と負担との公平性が考慮されているか？	国庫補助事業は購入価格の全額が補助されるため、町単独事業も同様の補助とすることで塩野産米の風評被害を防ぐため公平と考える。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり

3 事前評価結果

事前評価日： 平成 24 年 6 月 19 日

(1) 事前評価者として判断した今後の事業の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 1次案のまま採択 <input type="checkbox"/> 下記条件で採択 <input type="checkbox"/> 不採択 <input type="checkbox"/> 差し戻し	
(2) 採択条件	(3) 指示事項(事務事業に関する指示、事後(中間)評価日程等) 【補足】 ・補助事業対象、特別交付金対象になる可能性あり(対象外であれば東電へ請求する) 【事後評価日程】 ・H25.1～3に実施予定

4 成果検証

事後(中間)評価日： 平成 25 年 4 月 2 日

事務事業実施後の概要 (実施しての効果、受益者等の反応、問題点、課題等を記載)	補助実績はJAからの購入者107人、数量16,420kg、補助額1,368,607円。JA以外からの購入者9人、数量2,120kg、補助額176,702円。町内12箇所平成24年産米のモニタリング調査が行なわれ、セシウム濃度は11箇所が検出限界未満、1箇所が7.4Bq/kg(セシウム137)のみで、一般食品のセシウム基準値100Bq/kgを満たし全町出荷可能となった。事業執行中に国の指導により堆肥を水田に投入している畜産農家が国庫補助対象外となったり、基肥でカリ肥料を施用していない農家に追肥での施用を求めたり、JAの需要額調査に国庫補助対象の大豆分が含まれており予算要求が過剰だった等の混乱もあったが2月21日の補助金支払をもって事業が完了した。 県では平成25年度も国庫補助事業を継続する方針なので、町も補助対象とならないJA以外からの購入者、国庫補助事業開始できる4月1日以前の購入者への補助金を平成24年度実績見合いで当初予算に計上したが、JAf平成25年産米に施用するカリ肥料は4月1日以降に引き渡す見込みであることから、町単独事業補助金は予算額よりも縮小する見込みだ。
--	---

(1) 評価結果(今後の方向性)

優(成果大) 良(良好) 可 不可(成果なし・中止・計画変更必要)

(2) 総評 畜産農家購入分、稲作農家4月以前購入分について補助できた。結果としてセシウムが検出されなかった。	(3) 指示事項 <input type="checkbox"/> 再評価対象事業
--	--